

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻，新興感染症病態制御学系専攻，放射線医療科学専攻（博士課程）						
教育プログラム・コース名	ゲノム医療人材養成コース						
対象者	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科（医療科学専攻，新興感染症病態制御学系専攻，放射線医療科学専攻）大学院生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲノム情報を解析し，その結果を利用して患者のオーダーメイド治療を行えるがん専門医療人</li> <li>・乳がんを初めとした遺伝性疾患のカウンセリングを行えるがん専門医療人</li> </ul>						
修了要件・履修方法	本教育プログラム・コースで定める科目について，必修科目8単位，選択科目24単位以上，計32単位以上を履修する。						
履修科目等	<p>&lt;必修科目&gt; 集学的がん治療学特論（3単位），集学的がん治療学実習（2単位），ゲノム科学（1単位），腫瘍学特論（基礎編）（1単位），研究支援科目（8単位），論文研究（8単位）等</p> <p>&lt;選択科目&gt; 研究支援科目（6単位以上）</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	がん診療における標準的な治療法に加えて，基礎系の教室の協力を得て基礎腫瘍学，ゲノム医療を学ぶことにより，ゲノム情報を解析しその結果を患者に還元できる臨床腫瘍医を育成する。また，学内の革新的ながん治療・予防研究ユニットで整備が進む「研究用geneticラボ」及び立ち上げが計画されている「ゲノム医療人材育成センター」と共同で，大学院生の教育を行う。						
指導体制	大学院医歯薬学総合研究科の教員，研究員 大学病院のがん専門薬剤師，がん看護専門看護師						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	現在，学内で整備を進めているNGSなどを用いた「研究用geneticラボ」の運用において中心的役割を担う。また，免疫チェックポイント阻害剤や分子標的薬の適正使用の指導的役割を果たす。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	医師	0	2	2	2	2	8
	歯科医師	0	1	0	1	0	2
	薬剤師	0	1	0	1	0	2
							0
	計	0	4	2	4	2	12